



Title	大阪大学基礎工学部の推薦入試
Author(s)	関山, 明
Citation	高大連携物理教育セミナー報告書. 2016, 27
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/54460">https://hdl.handle.net/11094/54460</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## 大阪大学基礎工学部の推薦入試

～実はH14年から実施の実績あり～

大阪大学大学院基礎工学研究科 物性物理工学領域  
(大阪大学基礎工学部 電子物理科学科 物性物理科学コース)

関山 明

おことわり

このスライドの内容は大阪大学、大阪大学基礎工学部HP等で  
公開されている情報をまとめたものであり、  
どなたでも知ることができます



Akira Sekiyama

高大連携物理教育セミナー

於大阪大学

August 3, 2015

大阪大学

Division of Materials Physics, Graduate School of Engineering Science, Osaka University

## 基礎工学部推薦入試の現状

- ・入学年の2月上旬に実施、実施後数日以内で合格発表
- ・募集要項(出願書類含む)は11月上旬頃より配布開始
- ・出願期間は例年前年11月下旬～12月上旬(センター試験前)
- ・各高等学校長等が推薦できる人数: 1校で1学科につき2人以内

学科	募集人数
電子物理科学科	8人
化学応用科学科	8人
システム科学科	16人
情報科学科	8人

だいたい入学定員の  
10%弱

- ・センター試験の受験(5教科7科目)必須
- ・合格すると一般入試(前期日程、後期日程等)は合格しない  
(不合格に備え出願は妨げない)



Akira Sekiyama

Division of Materials Physics, Graduate School of Engineering Science, Osaka University

## 基礎工学部推薦入試の現状

- ・特に高校時代の課題研究経験などは必須ではない  
→ 実は高大接続を意識して導入されたというわけでもない
- ・第1段階選抜は募集人数の2倍を越えたときに実施  
(毎年実施している状況)

センター試験傾斜配点

教科	配点
国語	100点
地歴または公民(4単位科目)	75点
数学(数I・A+数II・Bなど)	200点
理科[物理+(化、生から1)]	200点
外国語(英、独、仏、中、韓から1)	125点
合計	700点

センター試験の総点、推薦書、調査書、自己推薦書により第1段階の選抜



Akira Sekiyama

大阪大学

Division of Materials Physics, Graduate School of Engineering Science, Osaka University

## 基礎工学部推薦入試における公平性の担保

この内容は明文化されて公開されている訳ではないが  
ちょっと考えれば現在の大学入試に求められることとして当然

- ・ほぼ半日で、志望学科別に第1段階選抜合格者全員を面接
  - ・面接後の受験生が面接前の受験生と接触する機会がないように受験生を集合させ誘導、解散まで導く
- 受験生は当日の面接の様子を事前に知る事ができない仕組み  
その為に当日は面接官の教員だけでなく  
それなりな数(多く)の基礎工教職員を動員



Akira Sekiyama

大阪大学

Division of Materials Physics, Graduate School of Engineering Science, Osaka University

## 基礎工学部推薦入試導入時 2002 (H14) 年度～

- ・「多様な選抜方法の実施」の一環(と思われる)

前期日程(定員の75%程度):個別検査(数、理、外)重視  
(配点:センター試験300点、個別検査700点):現在に至る

後期日程(定員の20%程度):センター試験重視  
(配点:センター試験625点、個別検査375点)

個別検査は数学・英語(理科を課さず):2012(H24)年度入試まで

推薦入試(定員の5%程度):センター試験+面接(口頭試問)  
+推薦書+調査書+自己推薦書

(募集要項より)

「面接(口頭試問)では、説明力・対話力とともに、十分な基礎学力を身につけていること、発想や知識を発展させ種々の問題に応用できることなどを評価します」

導入当時(～2012)の募集人数

学科	募集人数
電子物理科学科	5人
化学応用科学科	4人
システム科学科	8人
情報科学科	4人



Akira Sekiyama

大阪大学 Division of Materials Physics, Graduate School of Engineering Science, Osaka University

## 基礎工学部推薦入試の拡充 2013 (H25) 年度～

- ・後期日程入試による募集の停止に伴い、拡充

学科	募集人数	ほぼ倍増 →	募集人数
電子物理科学科	5人		8人
化学応用科学科	4人	8人	
システム科学科	8人	16人	
情報科学科	4人	8人	

- ・H29年度から、さらに若干の拡充のうえで予定されている  
世界適塾推薦入試に移行の予定  
[相変わらず特に課題研究発表経歴等を必須とはしない  
(そういう実績あれば、それを証明する書類は出願時提出)]



Akira Sekiyama

大阪大学 Division of Materials Physics, Graduate School of Engineering Science, Osaka University